新京日日新聞
夕刊　七月二十五日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行 壹圓五拾錢　特別一行 貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用（3）三二〇五　營業局專用（3）三三〇〇）
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

上海陸戰隊宮崎一等水兵 支那人に拉致さる！ 或ひは暗殺されたか（陸戰隊本部發表）

【上海廿四日發國通至急報】上海の我陸戰隊水兵一名は、廿四日午後支那人に拉致され行方不明となり、[illegible]

【上海廿四日發國通】上海陸戰隊本部發表＝一等水兵宮崎貞夫は廿四日午後九時廿分頃北四川路購買組合附近で、自動車で支那人に拉致され行方不明となつた、現場において泥まみれの襟飾と帽子を拾得した

【上海廿四日發國通】行方不明となつた宮崎一等水兵は廣島縣出身で、廿四日午後九時半頃北四川路内山書店と購買組合との間で支那人に暗殺された上死體を持去られたものらしい

我警察當局談

【上海廿五日發國通】狄思威路のわが警察當局の談によれば、廿四日午後九時廿分頃狄思威路で宮崎氏は、支那人數名に暴行を加へられ人事不省の儘自動車で何れにか拉致されたものである

海軍省副官談發表

【東京國通】海軍省は宮崎水兵事件に關し廿五日午前三時左の如く副官談を發表した
廿四日午後九時過ぎ上海北四川路狄思威路交叉點附近において上海特別陸戰隊員宮崎一等水兵が支那人のため拉致せられたりとの居留民よりの屆出でにより陸戰隊は直に警戒配備につき支那側當局および工部局とも連絡し眞相調査中なる旨現地より入電ありたり

豫めトラックを用意 計畫的に暴行働く

【上海廿五日發國通】陸戰隊幕僚の談によれば、宮崎一等水兵は單獨で歸營の途中拉致されたもので、左の如く支那暴民の計畫的行爲なる事が判明した、すなはち宮崎一等水兵は廿四日午後九時廿分頃狄思威路を陸戰隊本部に向け歸還の途中突如購買組合附近横あひから十數名の暴民が現はれ矢庭に同氏に打つてかゝり抵抗及ばず遂に倒れた氏をかねて用意のトラックにぶち込み何れともなく拉致し去つたものである

市當局遺憾の意表明 行方捜査に協力

【上海廿五日發國通】急報に接した陸戰隊竹田參謀は直ちに市當局に電話で通知したところ、市當局は遺憾の意を表明すると共に、警戒並に本人の行方捜査、犯人逮捕に協力を約した、他方岡本總領事は午後十一時倉惶として陸戰隊本部に入り、大河内司令官と鳩首協議してゐる

宮崎氏は外泊許可を得てゐた

【上海廿五日發國通】宮崎氏の行方については、目下わが陸戰隊及び各關係機關が一致協力して捜査に當つてゐるが、同夜宮崎氏は土曜日で外泊許可を得てゐた事判明した

遺留品發見者談

【上海廿五日發國通】行方不明の水兵の遺留品發見者岡崎君は語る

[illegible]

廿四日午後十時北四川路と狄思威路との角、購買組合の前で泥にまみれた海軍帽と白い襟飾とを發見、直ちに内山書店に馳け込んで陸戰隊本部に急報しました

何らかの辨法講じ 現地協定案默認 南京政府、方針を決定

【南京廿四日發國通】南京政府は、廿四日午前各要人を召集し、河北の現地協定案處理につき正式協議の結果左の重大方針を決定したと傳へられる

一、從來冀察の外交々渉を絕對に否認する建前を固執して來たが、何等かの辨法を講じ現地協定を默認する方が賢明である

一、但し一般國民を納得させるには協定默認につき何等か法理的の操作が必要である

一、外交部から特使を河北に派遣し現地を視察させると共に、日支兩軍當局と意見を交換させることが第一段の措置として必要である

しかして唐亞洲司第一科長は二十四日午後、來週中に河北に赴く旨言明したが、上記の計畫が圓滿に遂行されゝば、中央が實質的に現地協定案を默認することゝならう

對支問題有志大會開催

【東京國通】對支國民運動の魁けを期する對支問題有志大會は、廿四日上野精養軒で開會、井田磐楠男、菊池武夫男、井上淸純男、本田熊太郎、大倉公望男等發起諸氏のほか政界、思想界各方面から一千五百名出席菊池男議長席について宣言決議、香月支那駐屯軍司令官宛感謝慰問の電報發送の件を可決した後、決議の趣旨を達成するまで運動繼續を申合せ出席全員を實行委員とする對支同志會を即時結成して議事を終り、次で演說會に移り氣勢を擧げて同五時散會したが、決議左の如し

一、吾人は帝國政府をして萬難を排し支那現政權に對し斷乎徹底せる膺懲を加へ、苟もわれに反抗的行動を敢てする一切の禍根を支那全土より一掃しもつて速かに日支兩國民衆の康寧、東亞安定の基礎を確立し、世界の恒久平和を顯現せしめんことを期す

一、吾人は第三國の容喙が支那當局をして以夷制夷依存心を增長せしめ益々今次事態を惡化紛糾せしめるものなることを認め、日支紛爭に關し斷じてその介入を許さゞらんことを期す

政治的より軍事的へ ソ支提携の變化 駐支ソ聯武官の暗躍

【上海廿四日發國通】西安事變を契機として成立した國民黨、共產黨の妥協並にソ支提携は國民政府の所謂抗日國防建設の重要部門として展開され來つたが、蘆溝橋事件に對する南京側の抗日總動員の遂行に伴つて國共、ソ、支提携にはその性質重大化し、政治的提携合作より軍事的なものに發展するに至つた、駐支ソ聯大使館附陸軍武官レーピン氏は過日當地出發のセーヴェル號にて突如離滬浦鹽經由モスクワに急行したが、右は同武官が反革命活動に關係を有するためにスターリン氏に召還されたといふ一般の觀測を裏切り實はソ支軍事提携に關する重大任務に基く歸國であることが判明した、同武官は離滬前に南京軍事委員會當局と折衝したところ、南京側では、同武官に對して、各種飛行機及びパイロットの供給を懇望した、よつて同武官はソ聯當局に對し、南京側の意向を傳へ、これが實現をはかるため自らモスクワに歸つたものであるが、ソ聯現在の飛行機製造能力より推して支那への飛行機供給は實現の可能性あるものとされ、又一般パイロツト及び航空將校の派遣はソ聯人は種々の支障あるも、赤軍にて養成せる中國人、朝鮮人航空士の供給は直ちに實現するものとみられてゐる

萬國博入場券 二千圓の割增金附て發賣

【東京國通】萬國博の前賣入場券に對し抽籤で割增金をつける案は豫て内務、大藏、商工三省間で審議中であつたが最高二千圓とすることに廿四日決定した、この前賣券は十二枚一組を十圓とし、分割使用を認め、總額三千萬圓乃至三千五百萬圓の豫定で割增金の當籤率は勸業債券よりも多くする筈である

第二豫備金 八百萬圓追加に決す

【東京國通】政府は北支事變費としてさきに應急的に十二年度第二豫備金一千萬圓を支出したが、これがため今年度の第二豫備金は大部分支出濟みとなり、今後の災害その他緊急支出に應ずるため今議會に第二豫備金八百萬圓を追加豫算として提出協贊を求むることゝなつた

森中將の葬送に 勅使參向せしめらる

【大連國通】畏き邊りでは故森中將生前の勳功を嘉せられ廿五日の葬送にあたり午後三時御影池關東州廳長官を勅使として參向せしめられる旨有難き御沙汰があつた

奉天協和會 創立記念式典

【奉天國通】廿五日協和會創立六周年記念に當り協和會奉天市本部では午前八時半より國際グラウンドにおいて記念式典を擧行、園部部隊長、森岡總領事、葆省長、金市長等日滿各機關代表以下協和會各分會員等一萬餘名參列、盛大を極めた

武宮秘書官長 けふ着任

宮内省帝室林野局から滿洲國尚書府秘書官長に榮轉した武宮雄彦氏は二十五日午後六時二十分着あじあで着任する

人事往來

着京

▲露口敬三氏（會社員）二十四日來京ヤマトホテル ▲佐藤舜氏（外務省）同 ▲宮崎吉利氏（三支商會常務）同國都ホテル ▲佐々木彌太郎氏（福昌公司）同 ▲小杉勝次郎氏（商業）同 ▲赤木進氏（日立製作所）同 ▲北田榮太郎氏（安東商工會議所）同 ▲瀧原勝郎氏（神戸商業）同 ▲淸水淳一郎氏（同）同 ▲吉島篤次氏（興安南省）同 ▲田井信行氏（千代田生命奉天支部長）同 ▲小宮能男氏（サッポロビール）同 ▲加藤平太郎氏（精米業）同 ▲田北政治氏（會社員）同 ▲結城賓氏（貿易商）同國際ホテル ▲宗像義人氏（官吏）同 ▲石黒庄二氏（商業）同 ▲金崎芳佳氏（神戸海上保險）同向陽ホテル ▲角田直彌氏（商業）同滿蒙旅館 ▲皆川成司氏（大林組）同 ▲大野雅市氏（商業）同富士屋 ▲山田康延氏（同）同

出發

▲遠藤隆次氏 二十四日發奉天へ ▲直田重城氏 同 ▲小幡重治氏 同 ▲中村政芳氏 同 ▲野尻卓氏 同 ▲松山寬氏 同 ▲瀧藤豐三郎氏 同 ▲塚田俊治氏 同京城へ ▲齊藤貢氏 同東京へ ▲石川保氏 同撫順へ ▲高木德次氏 同 ▲興津時馬氏 同安東へ ▲伊東猛氏 同本溪湖へ ▲田子富彦氏 同鞍山へ ▲淸水尚隆氏 同 ▲黒瀨甫氏 同ハルビンへ ▲鎌田源一氏 同 ▲北林惣吉氏 同 ▲内田徹氏 同 ▲鹽田末吉氏 同大連へ ▲丸山良一氏 同 ▲皆吉大太郎氏 同 ▲世良正一氏 同 ▲水江寬之氏 同 ▲中山秀雄氏 同 ▲下山信治氏 同ハルビンへ ▲鯰室臣雄氏 同奉天へ ▲木暮洋吉氏 同 ▲吉田芳雄氏 同 ▲木崎正孝氏 同 ▲横幕胤行氏 同 ▲稻葉若義氏 同 ▲宮崎守氏 同ハルビンへ ▲島崎辰美氏 同ハイラルへ ▲大坂太一氏 同吉林へ ▲西山千賀夫氏 同 ▲小野八五衛門氏 同 ▲淺野重雄氏 同チチハルへ ▲水野滋氏 同撫順へ

その日〳〵

□不法また上海に起つたりして、炎熱とともに消し去り難き彼の暴戻か

□北支に於ける遷延糊塗、それを得意とするならば事態の昏迷またその意に添はう

□莫大なる買收費、そんなものが使はれる所、まさに軍閥混戰時代に逆戻り

□思想的、敎化的、政治的實踐組織體の本部が出來て、指令はトラックで送り出す由

□をもつて物價上騰を象徵する縁ではないか、噛みしめて味はふべきであらう

白い天使（上演・上映禁）

林房雄 作　吉田眞里 畫

（五〇）

めぐりあひ（一）

秋が、ますます深くなつてポプラの葉が、黄ばみはじめたある日。

レタア・ベエバアにかゝれたこんな詩みたいな文句を、居間の寢椅子によりかゝつて史子夫人はしきりによみかへしてゐた。

『あのころ、このころ』

といふ題がついてゐて

『たれにさゝげてもいい、戀うた』

といふ、ぜいたくなサブ・タイトルがついてゐる。

そこへ、秀夫が、どかどかとはいつてきた。

さつぱりした身なり。以前のやうに氣どつてはいないが、しかしきちんと身についた上等の服。

――秀夫は篠田の助手になつてからも、休みの日にはふつうの服裝にかへて、史子夫人のところによく

『骨休め』

にやつてくるのであつた。

『そう、みつかつて？』

よんでゐる手紙を、あわてて、クッションの下にかくしながら、史子夫人はたづねた。

これは、このごろ、秀夫にあへば、かならずでる夫人の質問である。

『だめ、だめ！』

秀夫は、寢椅子のこつちのすみにすわりながらしよげてみせた。

『さう。あたしのお祈りはきかないのかしら？』

『お祈り？』

『あたし、ちかごろ金光樣の信者になつたの』

史子はまた、とてつもないことをいひだした。

『失せ物やたづね人には、たいへん御利益があるのですつてね。このまへ、おうかゞひしたら、なんでもあなたの娘は、こゝから辰巳の方の瓦ぶきの屋根の下にたしかにゐるとお告げがあるの。さうさがしてみない？……』

『いやあ、どうも。辰巳といふのはどの方向か知らないが、東京にはまだ瓦屋根はたくさんありますからね』

『でも、このまへおしかつたわね。せつかくみつけておきながらとりにがすなんて』

――その篠田つて運轉手、金光樣におねがひして呪つてやらうかしら』

『いや、それにはおよびません』

『でも、くやしいわね』

『そりやあ、くやしい。しかし、篠田はなにもしらなかつたのだから、むりはありません。

それに篠田のいふことにも一理あります。

ぼくにはまだブルジョアのノラ息子の習慣がたくさんのこつてゐるから、今あの娘にあふことは、かへつていけない。

本人はまじめな戀のつもりでゐても、けつきよく相手をもてあそぶやうな結果になつてしまふ。有閑階級には、どうしても眞のまじめさが生れないやうにできてゐるから、これから自分を一人まへの男にきたへなほしてから、あの娘にあつた方が、かへつていい。

あのときとりにがしたのをむしろ感謝すべきだと、篠田はいふのです……』

さういはれゝば、そんな氣もしますよ』

『さうかしら？でも、運轉手のくせに、えらさうな口をきくわね』

『實際えらいんですよ。なんだか、こつこつ勉强してゐていろんなことを、よく、知つてゐますよ』

壯麗！『協和の殿堂』けふ賑かな開店
盃上げて五族の發展を祝福
協和會館成る

滿洲國に於ける唯一の思想的敎化的政治的實踐組織體——滿洲帝國協和會の總本部たる協和會館は愈よ新築竣工、夏晴れの二十五日、しかも同會創立滿五周年の記念日に盛大なる落成式を擧行した、大同公園の北側に隣接して微風爽かに流れる同會館には定刻午前十一時前より多數來賓續々と參集して近代式スパニッシュ・スタイルの建築內部を見學する、定刻に至り講堂に於いて開式、坂田文書科長開會の辭を述べ神官の修祓、降神祝詞、各代表者の玉串奉奠、昇神の儀あつて于中央本部長より建築擔當者菊地組代表に對し感謝狀を授與、更に同部長より挨拶あり來賓祝辭あつて祝宴に移り賑やかに協和の殿堂の幕開きを祝福した

五周年記念式

協和會創立五周年記念式は二十五日午前九時、新築成つた協和會館前廣場に中央本部及び首都本部の全職員集合して嚴肅に執行された、一同國旗に對して敬禮後、于靜遠中央本部長詔書、勅語、敎書を捧讀して訓示を與へ職員代表坂田人事科長答辭を述べ甘粕總務部長の發聲で協和會萬歲を三唱し式を閉ぢた

商議法發布後の同業組合の重要性
中間折衝機關として活躍か

在滿各地商工會議所並に商務會等は近く發布される滿洲商工會議所法により、その基礎は確立され、內容も日滿を打つて一丸とする充實を示すものとみられてゐるが、法的根據を得ると同時にその會員、議員等の資格に就いても一定制限を附せらるゝ事は明瞭で內地方面の例に徵すれば會議所構成メンバーは概ね資本家有力者によつて占められるため、中小商工業者等は直接參加出來得ざる狀態に陷り、常に弱き者の立場に於て泣寢入りせざるを得ざる狀態に陷つてゐる、國都に於る中小商工業者方面に於ては早くも此の點を憂慮し新商工會議所令の內容如何に多大の注目を拂つてゐると同時に、さきに結成された新京同業組合聯合會は若しかゝる場合に於ては新會議所と一般中小商店側の中間折衝的位置を占めることゝなり、下情上達的立場からみてもその位置はます〳〵重要性を增し、從來の如き單なる中小商工業者發展策を講ずると言ふのみならず、其政治的重要性も加はゝるものとしてその將來は期待されるに至つた

自轉車泥棒捕る

廿三日早朝東五條通りを自轉車を持つて徘行中の擧動不審の支那人を同派出所淸水巡査が發見新京署に連行嚴重取調べた結果、右は河北省生れ新京車站居住賀慶恩（二七）で自轉車は去る廿一日新京驛保安區から竊取したものであることを自白したが自轉車竊盜常習者として他に余罪多數ある見込みで目下嚴重取調べ中である

康德組から盜む

二十五日午前五時ごろ特別市豐樂路附近を白のズック袋を背負つて徘徊する擧動不審の男を密行中の首都警察廳王刑事が引致取調べると原籍山東省住所城內二道河春發店無職馬濟臣（廿九）と稱し袋の中には煖房用機具、水道栓・スペナ等の贓品が一杯につまつてゐた、もと特別市豐樂路七百十三土木請負業康德組に雇はれてゐたのを奇貨に同日午前三時ごろ內部の事情に通じてゐる同工場に侵入、前記機具類を盜み出したところを捕つたもので余罪多數ある見込みで嚴重取調中

行商の通り魔

特別市興亞街三〇七號佐藤ミツエさん宅に廿四日午後六時頃支那人行商人が訪れたが歸途家人の隙を見て玄關に置いてあつたろの赤地單衣時價十圓を竊取逃走したことを發見頸警署に屆出でた

本社扱ひの献金
零細な額にも滿腔の熱誠こめ
總額一千圓に達す！

好轉 逆轉、狡猾無比な支那軍を相手にして正義の皇軍の絕へざる努力も空しく形勢全く逆睹しがたき北支事變は一體何處に行く、歸趨は自づから判明してゐるのもゝ行きつくまでの現地將兵はこの百數十度といふ炎熱の下、武裝も解けず水も呑めず、東洋永遠の平和確立の大悲願の下、全く言語に絕する塗炭の苦しみを味つてゐる、北支將兵に心からなる慰問を行へと言ふ叫びは今や銃後各層から翕然として起りつゝある、本社はさきに卒先してこの國都市民の熱誠を傳へるため獻金手續を取計らふ旨を宣言したところ、續々慰問獻金相踵ぎ既に關東軍司令部獻金手續を了せるものは約一千圓に垂んとしてゐる

この 額は必ずしも大を誇ることは出來ない、然しながら要はその精神である、五十錢、一圓、五圓にも滿たない端錢、それらがつもりつもつてこれだけの額に達したのである、そこに本社が獻金手續を取り行つた眞意義が存すると信ずるものである、關東軍司令部に於てはこの時局多端なる折にも拘はらず、これ等五十錢一圓の獻金に對しても軍司令官名の鄭重なる感謝狀を最速郵送されつゝあり、獻金者はこの思ひがけない名譽に何れも多大の感激にむせんでゐる、なほ二十五日まで本社經由の分は次の通りである

▲三圓七十錢、青年學校夏季商業作文講習會生一同は修了に際し茶話會を行へる席上各自持合せを醵出

▲七圓三十五錢、日本組合新京敎會日曜學敎生徒一同、これ等少年少女が五錢十錢の白銅貨ばかりをザク〳〵狀袋につめた心からなる獻金である

第二松花江附近で又復、列車を匪襲
わが監視兵と交戰擊退さる

昨夜興安橋下連京下り本線のレールに三十數個の小石を並べて列車運行防害が未然に防がれて危く椿事を免かれた事件があつて軍警では犯人を嚴探中にも拘らず、二十四日午後十一時三十分ハルビン發（へ新京着は二十五日午前七時十分）旅客列車が二十五日午前二時半ごろ第二松花江にさしかかる直前鐵橋の北方から五六名の匪賊が現はれ鐵橋監視兵に向つて發砲した、折から鐵橋を巡警中のわが監視兵はこれと交戰の匪賊を擊退し列車は危機一髪のところで事なく通過して新京には定時に到着した

滿洲帝國武道會 柔道納會開催
今朝十時商業で皆勤賞授與

滿洲帝國武道會主催柔道暑中稽古は市內各道場共非常な盛會で炎暑を克服して二週間の苦業成り二十五日午前十時より新京商業學校に於て納會を開催二百餘名で大稽古ののち滿洲帝國武道會副會長皆川敎育司長から左記皆勤者に皆勤證が授與された

▽監督藤田昌吉（五段）田中德正、藤田照美、藤原豐三郎、山岡保孝、城戶國松、村山要、後藤五男（四段）川地堅明、長谷川皓、原正壽、時任智三人、西本忠、山內圭三（三段）內村淸則、小林藤辰 久保甚一、吉田三郎、田中俊秀、竹井茂、鈴木綱夫、小林政晴、生川洗三郎、小林常喜、原田平辰男、岡忠一郎、平岡輝堵尾强、沖村芳和（二段）金谷勇、濱崎優、東海林勇、一、朝日淸次、丸岡一男、吉松一雄、原田平光春、丸田政男、佐藤良、小村不二男、片淵芳郎、谷藤正一、梶村好數、松尾勳、久保田實、石澤英一、山本武男、森鄕治、小澤利友、廣田俊一、安齊亥之松、角谷丈夫飛實、渡邊康文、金居一郎、勝部正義、（初段）佐藤正、佐藤義人、花井茂、石岡吉郎、中村朝男、古島正義、皆川金成、江刺龍、大山守、白坂吉也、原川秀夫、廣瀨利正、樋口正民、橫山良雄、加留部直華、樋口直樹、久川獨義、渡邊丑郎、北山喜雄、藤森千史、梅原精吉、谷本修二、古江左門、須藤茂信、關元之、菅野牧、岡本重己、田中貞夫、中島丑之助、伊藤尊、幸野正憲（段外）山口豐、朴世郁、山崎五男、森淸桂、金宗培、田中憲一、福永佳夫、筧博、山縣泰夫、君山守廣、重信茂、岡田裕造、小笠原義政、諫山弘則、李慶、岡本茂、福田巖、北原俊夫、野田三夫、金正培村上元、佐原洪壽、田秀水土屋偉、上野一男、本村美秀、宮腰周二、阿知波茂二黑川亨、小川速水、福崎三彥、寺島賢一、山根虎市、伊東孝一、上野芳己、佐々木茂、竹內精一、黑田久、大堀慶一、菅野文治、福崎三彥、葉若政治、鈴木純榮一、關朋、王武炳、藤本太郎、青谷德作、肥後春吉、中村虎太、赤崎敬二、高月節二、高橋正雄、高比良敏之、後藤士郎、齊藤健、稻田浩、齊藤尙孝、林幸七、久本大四郎、上野國愛、中野廣久、高安英、東城政雄中原國男、高倉進、森友功藤川新三郎、佐竹恭次、四元三郎、吉本忠之、小野正一、小久保滿、樋渡二夫、山村正夫、岡田弘、田村貞二、李奎錫、津々木未藏、ロ之西武、末地主樹、本木正、韓永烈、中脇健二郎、堀野庄次郎、牧野吉雄、藤村茂、南樓、鬼塚紀元、戶原亨、杉本彰、峰松利一、熊谷害知、泰平良光、奧津仁也、福島道命、捲原理一綾戶正義、大久保永一、渡邊登志雄、齋藤一男、木下照海、金丸孝、佐藤忍、増山與一、吉井條活、荒木哲郎

（寫眞は柔道納會の大稽古）

郵政殉職者慰靈祭

郵政總局では郵政接收五周年に當り殉職者の慰靈祭を廿五日午前十時より護國般若寺に於て執行した、李交通部大臣、平井出次長、鄭郵政總局長、岡本同副局長以下在京職員三百名のほか來賓として廣瀨電々總裁等も列席、いと嚴肅に犠牲者の靈を弔つた（寫眞は慰靈祭）

本阿彌光美師 鑑定に來京

本邦刀劍鑑定界の最高權威本阿彌光美師は鮮滿視察を兼ね皇軍慰問途來京新京では二十七、八兩日晝は公會堂で夜は中央ホテルで一般の需に應じて鑑定する、主催は日本刀劍會有志、大會席上新古刀の卽賣をなす、鑑定料一刀一圓、軍人半額、小札三圓、大札五圓、なほ新京の鑑定を終つてハルビン奉天大連へ向ふ

鹽谷庶務課長

來京中であつた鹽谷關東州廳庶務課長は二十四日午後九時五十分發列車で大連に向つた

白井烟巖畫伯

日本畫壇の耆宿松林桂月畫伯の高弟白井烟巖畫伯は秋の展覽會出陳作品の題材構想のため來滿各地遍歷の途次來京中のところ二十五日午後二時十分發あじあで歸國した、なほ廿四日午後七時三十分から八千代館にて送別宴を開き關東軍田中參謀、民生部敎育司佐藤主事、青井、三宅その他各氏出席歡談のうち記念撮影をなし盛況裡に散會した

景品附電々型受信機 素晴しい賣行
締切りは月末限り

去る六月一日から開始された電々會社の電々型受信機景品附防空特別大賣出しはさきの防空準備演習及び北支事變等を契機としてラヂオの必要性は絕對的のものとして素晴しい賣行きを示し、賣出し開始以來廿四日現在をもつて二千七百四十四臺をまたゝく間に賣り盡し豫約注文濟みのもの二千臺を加算すると四千七百四十四台となつて全滿的な本賣出しは都市には見られぬ好績を收めてゐる、これによつて新京管理局管內に於ける全聽取者數は一萬九千一となり來月中の賣出し見込數一千台を加へると二萬台を裕に突破するものと豫想されてゐる、なほ同大賣り出しも六ヶ月月賦一等百圓二名、二等五十圓二名、三等三十圓四名、四等二十圓八名、五等十圓三十名六等粗品四十名の景品附特典にていよ〳〵本月三十一日を以つて締切られ抽籤は來る八月十日に行はれる筈である

飯塚前司長離京

飯塚前司法部刑事司長は廿五日十時發「はと」で馮司法部大臣、古田次長、前野刑事司長、皆川敎育司長等多數關係官民の見送りを受けて內地に向つた

落しもの

七、一〇 現金四圓也（驛構內）九 同一圓五十錢（新京輸入組合）內七一三 現金二圓也（吉野町一丁目）、一二 黑皮蟇口金一圓廿五錢在中（祝町二丁目）一四 萬年筆一本（興安大路三一二）一六 女用硝子製珠子一個（東一通通り）一八 絹差二折財布金二圓廿八錢在中（西公園內）同 蟇口金二圓在中（驛前客馬車上）一六 女持蟇口金壹圓六拾五錢在中（吉野町一丁目）一九 風呂敷包砂糖食鹽在中（吉野町一丁目）同羊色二折財布金參圓參拾錢在中（康德會館前）二〇 黑サージ夏服三ッ揃一着（永樂町二丁目）二一 クローム腕時計一個（吉野町バス停留所）數字は日時括弧內は拾得場所

あす（廿六日）

▲產業部農產課講習生卒業式及講演會、午前九時、軍人會館
▲郵政繼受滿五年祝賀式典、午前十時半、公會堂

▲野球、立敎對電々、西公園球場
▲協和の夕第二夜、午後六時協和會館
▲秋季第一次競馬第三日

◎今晩の主なる演藝放送◎

▲八・〇五軍歌と吹奏樂「皇軍の首途外」（東京）陸軍戶山學校樂隊 ▲八・三五詩吟（東京）▲八・四五新講談「北淸事變を回顧して」（東京）伊藤痴遊

映畫と演藝

各撮影所の製作狀況

松竹大船は八月に一週間、日活多摩川は七月十五日から十日間でそれ〴〵暑休を行ひまた行ひつゝあるが、この他新興大泉、PCL、大都の各撮影所も半歛上陸の形で所員の慰勞休暇をとることゝなり製作能率の低下を防ぐため休暇を前に各撮影所はロケにセット に目下猛撮影を左の如く展開してゐる

▽大船　野村浩將監督「男の償ひ」はクライマックスのある溫泉宿事件撮影に目下伊豆半島ロケを展開中である、顔觸れの主なるものは田中絹代、佐分利信、夏川大二郎ら

▽P・C・L　松井稔演出のメロドラマ、高田稔主演の牧場物「南風の丘」は全セツト撮影ノ了へ、このほど高田、大川、江戸川、高峰小杉、嵯峨ら一行二十餘名で輕井澤ロケを敢行これを最後に同映畫は撮影終了する

▽大泉　大泉は西鐵平監督、槙村、眞山、古川の「女同志」完成に引續き久松監督毛利主演「乙女十九」並に島津監督「人生の初旅」も撮影終了した

▽日活　髙瀨監督、江川、横田主演「背廣の王者」は喫茶店の内部大セットを江川横田、津村、高野、園枝らで撮影、同映畫四分の三をクランクし、一方吉村廉監督の「公園裏の兄弟」は山本、黒田、井染、吉谷らで第三ステーヂ一杯に建てた〃仙吉の家〃のセット撮影を終了

各社の系統館數

四月一日を期して火蓋を切つた六社對東寶の抗爭は、その後ます〳〵激化してゐるが系統館の爭奪に攻防戰を展開東寶の喰ひ込みも容易でなく最近の調べによる各社の系統館數は左の通りである

△松竹關東二三五、關西二七十、合評五一二△新興關東二一五、關西二八〇、合計四九五△日活關東二二一關西二八一、合計五〇二△大都關東一一三、關西一九三、合計三〇六△極東關東三八、關西一二七、合計一六五△全勝關東八四、關西一〇四　合計一八八、以上六社側總計關東九〇六、關西一、二六二、合計二、一六八△東寶關東三七、關西一〇五、計一四二で六社總計二、一六八に比し東寶一四二の弱勢を示してゐる

▽▽劍術繁昌記△△

次ぐ秋山耕作の監督作品で、北大路登の原作により井上金太郎と小林正の二人がシナリオを書いた、一文なしの浪人者が町で評判の美貌藝妓を利用して町道場を開築した、ふれ込みが何んと「美貌藝妓親の仇討本願に劍術稽古通ひ」と言ふのだから宣傳効果は百パーセント、忽ち來るは來るは道場は町のあんちやん連で大繁昌――高田浩吉久方振りの主演の他に北見禮子、花房みどり、最上米子、志賀靖郎、長井哲、山路義人、南光明、中村政太郎等が助演、長春座廿九日封切

（寫眞は松竹下加茂「劍術繁昌記」の一決戰高田の馬場）

ウファ作品十一本獲得

「南方飛行便」「旅順港」「シュヴァリエの流行兒」の佛映畫のほか東和商事では前年度に引續きウファの三六、七年中から左の十一作品を獲得、シーズンを飾ることゝなつた

▲「白鳥の舞」リリアン・ハーウエイ、ウイリ・フリッチ主演、ボウル・マルチン監督▲「乙女イレーネ」リル・ダゴフアー主演、ラインホルト・シュンワレル監督▲一第九交響樂」ウイリ・ビルゲル主演、デトレフ・ジールク監督▲「賣國奴」リダ・バーロヴァ主演、カール・リッター監督▲「詩人ボッカチオ」ウイリ・フリッチ主演、ヘルバート・マイシュ監督▲「自由へ乘入る」ウイリ・ビルゲル主演、カール・ハートル監督▲「王様ワルツ」ウイリ・フォルスト主演、ヘルバート・マインユ監督▲「宮廷音樂會」マルタ・エゲルト主演、デイトレ・ジールク監督▲「サヴイ・ホテル」バンス・アルバース主演、グスタフ・ウツイキー監督▲「アナトール市」ブリギッテ・ホルナイ主演、トウルヤンスキー監督▲「乞食學生」カロラ・ヘン主演ゲオルグ・ヤコビー監督

なほこの他フォルストの「ひめごと」「ブルグ劇場」がある

雜音

帝キネの「ターザン」大會は初日は豫想した程の入りのない日はやはり土曜日二日目土曜日はや持直した様である▼次週は「失はれた地平線」と「結婚クーデター」の巨作が並ぶ懸賞募集などをやつて氣勢を添へてゐる▼銀キネの「愛怨峽」は日延べ、「ロマンス乾杯」と共に大分評判はいゝやうである、大相撲と正面からぶつかゝつた丈けのことはある

さぼてん

けふは或る消息通から聞いた話を取次いで置く▼「赤玉」に〃かつら〃といふ女あり、面白い年增型であつて「普通の男では物足りないわ、蒼白い好い男なんか嫌ひ」と言つて居るといふ事▼「朝子の茶寮」にゐてその後一時「イナリ」にゐた〃キヨミ〃今や「238」に在つて活躍して居る由▽「リノン」に〃千代子〃といふあり、仲々惱殺さすやうな身體で殊に唇がよく近所の役所の連中その唇を眺めてアイスクリームなどをなめるとか▼いや、こんな話の取次ぎも暑くて樂ぢやないですよ

ナショナル瓦斯コンロ

月曜　甲寅　赤口　危　心宿　舊六月十九日　新暦十二日・十六日

● 一白の人　一日の行樂に明日の元氣を恢復せらるべし　申と庚と辛が吉

● 二黑の人　物事豫期通りに運ばぬ日萬事進むも功なし　乙と丁と庚が吉

● 三碧の人　勇奮して大に得る所ある日躊躇すべからず　申と壬と癸が吉

● 四綠の人　疑心暗鬼を生ず從來の業に携はりて咎なし　申と壬と癸が吉

● 五黃の人　物事次第に過大となりて勞苦も增大すべし　丙と庚と癸が吉

● 六白の人　常に薄氷を履むの思ひあるべく愼重に進め　丁と申と辛が吉

● 七赤の人　掴みし好運も邪魔起りて痰苦を增す不快日　庚と辛と丑が吉

● 八白の人　力と賴む人と共に徐ろに計畫を樹つべき日　乙と辛と壬が吉

● 九紫の人　押しと力にて一氣に事を擧ぐるが功能早し　丁と壬と癸が吉

貸家御案内

本日の空家

◇曙町四丁目一脇坂ビル二階家賃八七圓十疊・八疊・十疊洋應接間三室・家主脇坂ビル電話③六八六一

◇東三條通四九家賃一一〇圓四室店舗向・家主片淵カメ大和通六五電話③三三七四

◇御問合は直接家主へ願ひます

◇貸家貸間揭載御希望の向は當所へ御一報下さい

電氣御相談

◉屋内電氣工事の設計監督は無料で致しますから相談所を御利用願ひます

◉御需用家單獨で會社の營業當局に依賴し難いことが御座居ます場合には御需用家の爲に御斡旋致しますから御心安く御相談下さい

◉其他廣告サインの考案設計職業用電熱の深算・家庭用電氣器具の使ひ方等に就ての御相談に應じます

◉燈火管制について御不審の點が御座居ましたら御遠慮なく御問合せ願ひます

電業支店　電業相談所　電話3　六五一一　二二五六

廣告の御用は　電話3 三三〇〇番

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三〇五 營業局專用(3)二〇二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

水兵事件の眞相究明
當面の處置は現地に一任

【上海廿五日發國通】陸戰隊員拉致事件に關し海軍では廿五日午前十一時別項の如く海軍省副官談を發表し海軍の態度方針を明かにしたが、同日朝來海軍省には山本次官、豐田軍務局長、島田軍令部次長、近藤軍令部第一、野村同第三、降幡同第四各部長等省部首腦參集、現地より接受せる公電ならびに情報に基き協議した結果、先づ事件眞相究明第一を採ることゝし、當面の處置を一切第三艦隊司令長官長谷川清中將の善處に一任することゝなつた

"目撃者"の擧動奇怪
捜査當局躍起となる

【上海廿五日發國通】北支の事態緊迫と共に南支に於る不祥事の突發は豫想されたところで軍事當局でも警戒の手を緩めず、陸戰隊にたても兵の行動に對し充分の戒愼を強調不祥事の勃發を未然に防止せんとしてゐるにも拘らず、遂に宮崎水兵事件の發生をみたもので、平靜に馴れた居留民の間にも漸く不安の空氣が漂ふに至つた、事件の全貌は左の如くである

一、廿四日午後九時十五分陸戰隊一等水兵三名が北四川路陸戰隊本部より約八町の地點を歸營の途中、岡崎義雄なる半シャツ、半ズボンテニス帽の男が「今此處で日本の水兵が支那人にやられ自動車で連れて行かれ、これが落ちてゐた」と帽子並に襟章を提出住所氏名を告げて立去つた

一、遺失物の所有者一等水兵宮崎貞夫は陸戰隊の全員非常召集の際にも唯一人歸營しをらぬこと

一、宮崎水兵の足取りは午後七時映畫館を出たところ迄判明、犯行時間は午後七時より九時迄の間と推察さる

一、岡崎義雄なる人物はその述べた住所にも該當者居らず、領事館の屆出にも見當らず

一、岡崎以外には事件の目撃者居らず、事件は岡崎が發見されぬ限り當時の狀況すら一切不明

一、領事館警察は陸戰隊、工部局と協力、まづ岡崎の發見に事件後二十時間絕えざる努力を續けてゐるが、未だ(廿五日午后五時現在)何等手掛すら入手し得ず

一、宮崎水兵は性質溫和、親思ひで營內でも模範兵といはる、來滬以來未だ二ケ月、上海の地理、言語にも通ぜず、外泊も今月に入つて、二回下士集會所に泊つたゞけに事件は個人關係は全くなく、全く日本水兵なるがための抗日テロ行爲の犧牲となつたものと解される

一、岡崎なる者が善良の日本人ならば假令其いふが如く母親が危篤なりとするもかゝる事件に遭遇して陸戰隊本部への同行を拒むわけはなく、また一旦歸宅するも問題がかく重視せらるゝを知つて情況報告に出頭せぬはずはない、第一番に報告をうけた水兵の言によればその日本語にはなまりはないといふも、日本語に極めて達者な不逞鮮人または支那人で、抗日テロ團の手先におどるものではないかといはれる

何にしても岡崎の所在判明が第一と捜査當局は躍起となり一方陸戰隊當局は市民殊に支那人の動搖防止のため街路警戒も大體平常通りに減ずるなど氣配りの裡に捜査並に警戒の手を緩めぬが、事件の眞相は第二日目の夕刻となるも依然判明せず、捜査當局も焦躁の色が漸く濃くなつて來た

何らの手掛りもなし

【上海廿五日發國通】一等水兵宮崎貞夫並に目撃者岡崎義雄兩氏の行方については八方捜査したが、午后に至るも判明せず手掛りもない、引續き陸戰隊、工部局、總領事館警察の手で犯人並に眞相調査中である、陸戰隊では引續き警戒してゐるが、事件の發生後租界道路に配置した將兵は午前九時引揚げ、目下巡邏兵のみをもつて警戒してゐる、廿四日施高塔路閘北方面の支那人は相當動搖したが廿五日朝平靜に歸した

【上海廿五日發國通】宮崎事件唯一の目撃者と目される自稱岡崎義雄氏の所在はいまや總領事館警察、工部局警察の協力捜査に最も有力な手掛りを提供するものとして事件勃發の當初以來不休必死の捜査が續けられてゐるが、各路聯合會では廿五日午後二時より聯合會事務所に緊急常議委員會議を開き、事件に對する居留民の態度ならびに警察に協力して一刻も早く目撃者岡崎氏を捜し出す方法について協議するところあつた

本多海軍武官 岡本總領事と協議

【上海廿五日發國通】事態の重大性に鑑み海軍武官室では廿五日も早朝より引續き鳩首協議を行つたが、午前十一時本多武官は沖野少佐を帶同、岡本總領事を訪問萬全の策を講ずるため種々協議した

犯人の捜査逮捕を
我が方正式に申入る

【上海廿五日發國通】宮崎水兵は廿五日午前に至るも姿を見せず、前後の事情から拉致と認定さるに至つたので岡本總領事は、廿五日午前十一時から上海市長代理兪鴻鈞氏及び工部局事務總長フエッセンデン氏を歷訪犯人捜査並に逮捕につき正式申入れをなした

郵政總局員競技

郵政接收五周年記念に當り郵政總局では二十五日慰靈祭の擧行を始めとし種々記念行事を行つてゐるが、二十六日は局員選拔選手による郵政行務上必須種目たる珠算、傳票計算等の競技會を記念公會堂にて記念式典終了後開催する

萬端の處置を講じた
總領事館當局談

【上海廿五日發國通】宮崎水兵事件について總領事館當局は語る

當局においては陸戰隊宮崎一等水兵事件についてすでに萬端の處置を講じてゐる居留民は時局柄この際動搖することなく各自冷靜に自重せんことを望む

總領事館警察署員を非常召集

【上海廿五日發國通】總領事館警察署では急報に接し署員を非常召集、臨時捜査本部を現場附近に置き、陸戰隊および工部警察と協力行方捜査中である

支那軍又集結か
蘆溝橋方面の行動不穩

【豐臺廿五日發國通】廿四日午後五時頃から支那軍は一文字山前方の鐵道線に陣地を構築しはじめ六時から九時頃まで宛平縣城內は非常な喧騷を續けてゐた、この喧騷の最中石彤山方面に當つて一發の烽火があがり、續いて宛平縣城東南方野樓と、衙門口前方に紅白の火點信號が交され、犬の泣聲が午後十時に至るまで蘆溝橋より八寶山、衙門口方面にわたつて聞えて來た、この奇怪な事實に對し我方は極度に緊張したが、右に關し豐臺部隊本部ではつぎの如き兩樣の觀測を下して依然嚴戒をつゞけてゐる

一、撤退した第三十七師の一部は保定に到着せず長辛店附近に集結した形跡あり、この部隊が夜間を利用して原位置に復歸したこと

二、宛平城、蘆溝橋方面の馮治安部隊が西苑に撤退するには永定河左岸を通過する方が近道であるため協定を破り夜間を利用して撤退したこと

前者とすれば事態は極めて重大であり、交渉の澁滯と相俟つてわが方の重大決意を必須とするものである

北支支那軍狀況
依然として戰備强化

【東京國通】廿五日午前十一時卅分陸軍省着電によれば、支那側情勢は以下の如くである

一、北支にありし支那側部隊は昨廿四日撤退の模樣なく運輸軍輛數の不足を名とし一列車をも運轉せず
二、第百三十二師(師長趙登禹)の獨立第二十七旅は約諾に反して遂に北平に入城し、第二旅は廿四日保定(北平南方永定河の南岸)に到着し、第一旅は平漢線を北上中の如し
三、八寶山附近の支那軍陣地は依然石友三麾下の保安隊により守備せられ補强工事を行ひつゝあり
四、廿四日南京より山砲八門を北方へ發送せり
五、北支事變平和解決の氣運現はれるや、山西省城太原の空氣は俄然惡化し、わが太原機關の使用人に對し逃亡を强要する他、昨廿四日機關長が支那側綏靖公署朱參謀長と會見のため午後五時頃綏靖公署に至らんとするや公安局側のため計畫的に阻止された、本件に關しては目下抗議中である

熊特使に二十九軍首腦部現狀を報告

【北平廿五日發國通】蔣介石氏の重要使命を帶びて北上、廿三日來平した南京政府參謀次長熊斌氏は、廿三日直ちに宋哲元氏が訪問し中央の北支に對する方針を傳達したが、廿四日午前十時より宋哲元氏は秦德純、馮治安、趙登禹氏等第二十九軍首腦部を招集、熊斌氏に對して北支事變解決對策を中心として北支の現狀を報告した

現地折衝に亞洲司第一課長を派遣

【南京廿五日發國通】國民政府は現地協定を默認する方針のもとにこれが締結に關する諸辨法を考究した結果、亞洲司第一科長董道寧氏にこれを携行せしめ、北支那の現地に派遣の上折衝にあたらせることに決定したといはれる

約諾を履行せず
北平城內の兵力增加

【北平廿五日發國通】第廿九軍の全面的約諾不履行はいまや歷然たる事實となり、事件解決前途に對する悲觀的空氣は漸次濃厚となつて來た、すなはち廿三日趙登禹部隊の入城によつて北平城內の支那軍の兵力は却つて一個師を增加し、市內の戒嚴は時間その他において表面上緩和されたが第二十九軍の戒嚴施行はなほ停止されず、十二時過ぎれば市內殊に日本人居住地帶たる東城の隨所に支那兵達が現はれ第廿九軍の約諾不履行はまたもや北平城內に浸潤し、また東城東單牌樓の大通りを俯瞰する哈達門城廓の上にはいまなほ五つの銃眼が邦人居住地を睨みつけてゐるなど支那軍の挑戰的態度は何等改められたものがない有樣である

北支皇軍支援に鄕軍起つ

【東京國通】日支の風雲益々險惡な折柄、國論統一を目指し奮起した三百萬全國鄕軍は廿五日の日曜日東京始め全國各地に於て鄕軍大會を開催、閑院總裁宮殿下より賜つた御激勵の御言葉を奉戴すると共に、いざ鎌倉に備へる力强い宣言決議を發表する一方本大會の名で第三艦隊及び北支第一線の將兵へ激勵感謝の電報を發した、尙帝都に於る大會代表は右宣言決議を携へて首相、外相、陸、海兩相、兩院議長、樞府議長等を歷訪、これを手交し當局を激勵した

和知中佐けふ東發歸任

【東京國通】現地の情勢報告のため廿二日飛來した支那駐屯軍參謀和知中佐は陸軍省參謀本部など關係當局との打合せを終へたので、廿六日朝羽田發飛行機で天津に歸任することゝなつた

七千萬圓の北支事變費
廿七日衆院提出

【東京國通】北支事變關係經費をはじめ、各省追加豫算は目下大藏省で審議を急いでゐるが、事變費關係は追加第一號として切り離し、廿六日の閣議で決定、廿七日衆議院に提出される豫定である、然して右北支事變費は陸海外務三省に亘り五千四萬圓と、北支事變費第一豫備金二千萬圓、合計約七千萬圓に上り全部公債支辨とし、北支事變に關する新規債法を制定して今議會に提出することゝなつてゐる、尙事變關係として朝鮮及び關東局兩特別會計に夫々若干の追加豫算を計上してゐる

大橋外務局長官

大橋外務局長官は二十五日午後六時二十分着あじあで大連から歸京した

事變公債發行の件
衆議院に提出

【東京國通】政府は二十六日の閣議に「北支事變に關する昭和十二年度豫算案追加第一號」を附議することゝなつたが、これと併せてこれが財源たる公債發行に關する法律案を「北支事變に關する經費支辨のための公債發行に關する件」として附議承認を求め同日直ちに衆議院に提出することゝなつた

北支將兵慰問決議
あす衆院上程

【東京國通】衆議院では廿五日正午各派交渉會を開き北支派遣陸、海軍將兵に對する慰問決議の件につき協議の結果廿六日上程の豫定を變更して廿七日國務大臣の施政方針演說後質疑應答に入るに先ち、特に陸、海軍大臣より北支事變に對する報告をうけた後議長發議のもとにこれを即時可決することに決定した

廿六日兩院日程

▲貴族院　午前十時本會議を開き、勅語奉答を議長より諮り之を可決、松平議長は右奉答文を捧呈のため參內につき一旦休憩の後再開、全院委員長、常任委員の選擧を行ふ
▲衆議院　午前十時本會議を開き、全院委員長及び常任委員の選擧を行ひたる後、政友會の山本悌二郎氏の議員在職三十年の表彰決議を行つて散會

安東協和會都市分會開會式

【安東國通】安東協和會都市分會の團結と結束をかためる都市分會綜合開會式は廿五日午前九時より大和小學校々庭において各分會員一萬五千名參集の上開催協和會運動の重大任務の認識を新たにし、分會宣言、分會員宣誓を行ひ、續いて北支事變の銃後を後援する協和會安東本部合同大會を開催し、終つて一萬五千の大衆の市中行進に移り附屬地より滿洲街をねり廻つて氣勢をあげた

大阪工業會燃料委員會で統制を決議

【大阪國通】大阪工業會では廿四日理事會並に燃料委員會を開き、石炭の需給その他近況の報告並にこれが對策の審議を行つた結果、國防並に產業發展の根幹たる石炭は生產擴充策に應じて今後の需要激增するは必至で、石炭饑饉を防ぐため大規模の增產を行ひ炭價の公正を期するため現下の情勢から見て斯業は國家統制下に置かるべき事であるとの見解から燃料委員會の名に於て決議を行つた、しかして來る廿七日の政府物價對策委員會第二回會合に出席する委員片岡安氏は特に石炭に關する小委員會に於て右決議の趣旨に基き石炭國家統制を提唱する模樣である

日滿連絡機
天候不良のため引返す

廿五日午前七時廿分新京發東京行日滿連絡機は、京城着後天候不良のため午後一時四十四分京城發新京へ歸還の途に就いた旨滿航本社へ入電があつた

人事往來

▲佐田弘治郎氏(著述業)二十五日來京ヤマトホテル
▲玉井純氏(鐵道總局)同
▲齋藤勘七氏(會社員)同
▲堀江周作氏(會社員)同
▲馬淵重次郎氏(商業)同中央ホテル
▲秋月清三郎氏(會社員)同
▲小林長雄氏(同)同
▲東山昇氏(官吏)同向陽ホテル
▲福井武德氏(同)同
▲石田工氏(同)同
▲加納芳三郎氏(辯護士)同
▲立川巖介氏(滿鐵)同
▲東喜代松氏(官吏)同
▲藤崎孝吉氏(會社員)同都ホテル
▲前田鶴龜氏(官吏)同
▲田所定右衛門氏(吉林鐵路局)廿五日來京帝都ホテル

偶語

北平附近に駐屯してゐた支那軍が撤退を始めたかと思ふと參謀次長の熊斌といふ南京側の代表が莫大な買收費を攜へて北平に乘り込み▼所謂親南派要人間を奔走し大金をばら撒いて徹底的に抗日を使嗾し▼漸くその影が薄らぎかけたかに見へた冀察部內には再び抗日分子の活躍が旺盛になつて來た▼更にそれと呼應して上海には强力なる抗日團體抗敵後援會といふのが生れ▼國家危急存亡の秋全支民衆は一致團結總動員下命を待つべしと絕叫▼全支各地の團體に對し救國抗日運動を促進するやう打電し全支民衆運動を起すに至つた▼それかあらぬか上海陸戰隊の一等水兵が支那人に暗殺された上死體は豫て用意のトラックで持ち去られたといふ海日事件が勃發した▼これを要するに南京政府は事變解決を婉曲に回避し飽くまで抗日侮日態度を持續せんとする肚裏が明瞭に窺はれるのである▼我が政府當局は天が與へたこの機會を逸せず速かに支那積年の反抗的行動一切の禍根を支那全土から一掃することが刻下最大の務であらう

第七十一特別議會 晴れの開院式

きのふ貴族院で行はせらる

【東京國通】北支事變による非常時局下に廿四日成立をとげた第七十一特別議會晴れの開院式は、廿五日午前十一時貴族院において行はせられたこの日兩院議員は晴やかな面持の中にも緊張味をみせて燕尾服又は正裝にて午前九時半頃より續々登院、天皇陛下には陸軍禮式御正裝に大勳位菊花章頸飾を御佩用、近衛騎兵の儀仗による第二公式鹵簿にて午前十時卅五分宮城御出門同四十五分議事堂着御、松平貴族院議長の御先導にて階上便殿に入御、御先着の各皇族方を始め奉り近衛首相以下全閣僚、平沼、荒井樞府正副議長以下各顧問官ならびに松平、小山、佐々木、金光兩院正副議長等に拜謁仰せ付けられ、終つて陛下には諸員最敬禮裡に正十一時式場玉座に親臨あそばされ玉音嚴かに優渥なる勅語を賜つた、かくて滯りなく開院式を終へさせられ、陛下には同十一時五分諸員最敬禮裡に御退場、天機麗しく宮城に還御あそばされた

優渥なる勅語を賜ふ

【東京國通】廿五日第七十一特別議會開院式に當り賜りたる勅語左の如し

勅語

茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

衆議院奉答文

【東京國通】廿五日の衆議院本會議は開院式終了後午前十一時卅六分開會直ちに奉答文議事に入り、小山議長より十八名の起草委員を指名して一旦休憩、この間起草委員は奉答文案を決定して本會議を再開、委員長俵孫一氏よりこれを議場に報告すれば全員起立して滿場一致これを可決し、午後零時二分散會した

奉答文

恭シク惟ルニ 車駕親臨シテ茲ニ第七十一帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル 勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上 陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス 衆議院議長小山松壽誠恐誠惶謹ミテ奏ス

上海市場の動搖に 政府要人の策動

公債手放に商人警戒

【上海廿四日發國通】北支事變勃發以來上海公債市場は最も敏感なる反應を示し、十四日前寄の如きは一齊に廿四元のリミツト迄暴落し、その後に於ても大體五元乃至十一元見當の大巾反落を演じ、事態の進展如何によつては如何なる危機を惹起するやも圖られざる狀勢にあるので、南京當局ではこれが最も極端なる對策として一時事變の見透しがつく迄交易所を閉鎖するのではないかといふ一部の說も流布されてゐるが、然し他に適當な方法があればそれをもつて市價の安定を計るべく當分交易所に嚴命して然るべき手段を執らしむる方針の模樣である、一方證券交易所はこれとは別に先づ追證の整理と特別證據金の引上をはかり、十四日から九六公債の本證及び特證を一萬元につき各二百元合計四百元として据置き、爾餘の上場公債は賣買双方共一萬圓につき本證四百圓、特證六百圓、合計一千圓に引上げ極力公債暴落の强力なる統制策をとつてゐる、然るに巨額公債の潜行的賣買は依然として跡を絕たず、買方の主力は中國建設銀公司總經理の宋子良一派と稱せられ更に政府財政部、實業部方面の巨頭連の暗躍が相當猛烈で、彼等は何れも手持公債を手放し、この代金を以て爲替市場に於て比較的安定した對外爲替、即ち磅、弗貨の買進みを行つてゐる、而して更に巧妙なるものは此買付外貨を以てアメリカ市場に於るフイリツプ株、ソコニー株、スチール株等の買付を行ひ、極めて巧智なる資本逃避を營みつゝあり、又昨秋來の好況によつて得た利潤を公債に振替へ、公債有利なりと樂觀してゐた一般マーチヤント筋はかゝる惡辣なる裏面工作にとり殘された形で、要人方面に對し頗る怨嗟の聲を放つてゐる、過般の紗布交易所に於る醜事件直後又復この種の政府要人の腐敗行動に對しては各方面共に異常なる警戒を初めてゐる

海の第一線部隊へ 慰問袋發送

【東京國通】酷暑と戰ひつゝ非常時海の警備についてゐるわが海軍將士へ送る國民熱誠の慰問袋は全國各地から續々海軍省に獻納されてゐるが、海軍省では一日も早くこれ等將士に送り屆けやうと晝夜兼行で荷造りを終り、二十五日朝先づ一萬一千七百五十個を上海特別陸戰隊、駐滿海軍將兵在支第三艦隊等に向けて發送した

航空報國へ先鞭 三大事業計畫

帝國飛行協會緊急總會で決定

【東京國通】空軍第二陣の民間航空界を牛耳る帝國飛行協會では時局に鑑み航空報國の實を擧ぐべく廿四日緊急總會を開き協議の結果、今年度豫算の中から十五萬圓を提出、左の三大事業を實施することを決定した

一、民間操縱士四百名を選拔して來る八月中四週間の豫定で名古屋飛行場で航法、氣象學、法規等の講習會を開く

二、下空士を多數養成して飛行機操縱士の急速養成をなす目的で九月グライダー指導員講習會を甲府市で開催その中の優秀者約十名に更に本格的訓練を行ひ教師として將來同飛行場に開設豫定のグライダー專門學校の基礎を確立すること

三、航空の根據たる飛行場增設のために全國に檄を飛ばし飛行場增設を國民運動となし、荒無地、原野、砂濱河川等凡そ飛行場又はグライダー假空場として役立つところを開拓せしむること

閑院參謀總長宮殿下 鄕軍に優渥な御言葉

【東京國通】「暴戾支那を膺懲せよ」のスローガンのもとに都下十六萬の在鄕軍人を擁する東京市聯合會では、二十五日午前九時九段靖國神社社頭で都下鄕軍大會を開催したが、席上今回の事變に際し帝國在鄕軍人會總裁に在す閑院參謀總長宮殿下より特に鄕軍に賜つた御言葉が傳達され關係者一同感激してゐる、事變勃發以來殿下には御七十三歲の御高齡にも拘らず、夙夜軍務に御精勵遊ばされ、側近者をはじめ參謀本部員もひとしく感激申上げてゐる有樣である、たまたま去る十七日鄕軍會長井上幾太郎大將が御殿に伺候し拜謁の上同大將から事變が發生するとゝもに直ちに在鄕軍人會本部の處置として全國各聯合支部及び支部に訓令を發した旨委細を言上した處、總裁宮殿下にはいたく御滿足に拜され、同大將に御慰問の御言葉を賜つた上格別の思召から鄕軍一同へと左の如き御言葉を賜つたものである

帝國在鄕軍人會はわが國內において最も鞏固なる團體なるをもつて國民の核心となりこの際一層國論の統一に邁進せよ

溥傑氏夫人

姙娠三ケ月のお目出度

【東京國通】日滿の契りも固く今春四月華燭の典をあげられた滿洲國皇帝陛下の御弟君溥傑氏と嵯峨公勝侯の令孫浩姬はその後千葉縣檢見川の新宅で幸福な家庭を營んでをられたが、この程來浩夫人に吉兆が認められ宮內省御用係岩瀨博士の診察の結果、目出度も姙娠三ケ月と判つたので背の君溥傑氏はもとより嵯峨侯爵家でも一家をあげて喜びにひたつてをり、溥傑氏は直ちにこの旨を滿洲國皇帝陛下に御通知申上げた

滿洲旅館會社 十月創立の運び

東京大會に備へ旅館施設擴充

鐵道總局では觀光滿洲の施設完備に種々努力を拂ひつゝあり、今回これが具體的着手として全滿ホテル網の擴充を期し滿鐵直營旅館を打つて一丸とした滿洲旅館會社の設立を企圖し、これが準備中のところいよいよ最後案の整理をみるに至つたので近く重役會議に附議、正式決定の上十月一日創立される運びとなつた、同旅館會社は資本金一千萬圓（七百五十萬圓拂込、全株滿鐵持）で全滿ヤマトホテルの經營ならびに滿鐵助成旅館に對する助成業務の一切を繼承するもので、專務には現總局囑託平田驥一郎氏が就任する豫定である、なほ同會社は三年後のオリンピツク大會に備へ吉林、承德、羅津等に新たにヤマトホテルを設立すると共に大連、新京、奉天、哈爾濱其他既設ヤマトホテルの大々的增築改修に着手する計畫で、同會社の設立は全滿旅館經營に大新生面を與へるものとして注目される

モスクワ、セバストポール間 飛行競技擧行

【モスクワ廿四日發國通】モスクワ、セバストポール間二八一五キロ往復飛行競技が二十四日モスクワを起點としてスポーツ用一人乘り、二人乘り機計十九臺參加の下に擧行された、天候は不良であつたが、同日中にモスクワ歸還に成功した、飛行機は九臺、一等はダイモフ飛行士操縱の發動機百十五馬力一基の一人乘り飛行機で所要時間十時間五十二分である

日曜、快晴に惠まれ 鮓詰めの競馬場

馬券賣上げ總額は十萬圓

日曜日の好條件に惠まれたる二日目の競馬場はカラリと晴れたるピクニツク日和に誘はれてか、入場人員約三千の超滿員我等の競馬フアンによつて埋まり、初日の好レースが二日目の隋力となつて到るところに競馬經濟學の極手が術策され、華やかな投票に終始した、當日は障碍レースに於て久保田騎手が落馬し全治一週間の輕傷を負ふ等あり、痛く競馬フアンの同淸を集めて騎手諸君の眞劍さを裏書くものであつた、本日の馬券總賣高はさすがに多く、九萬二千三百九十五圓といふ數字に搖彩票一萬九百七圓、合計十萬有餘の札が亂れ飛んだ譯である

江藤代議士 北支視察の途語る

【安東國通】衆議院議員陸軍少將江藤源九郎氏は北支事變現地視察のため廿五日正午安東通過ひかりで北行したが語る

內地の事變に對する認識は極めて輕薄なものがある、これは軍の事情が正確に傳つてゐないためで、自分は事變の實情を見、國民の間に認識させるため見に行く事變の局地解決等といふことはもつてのほかで、根本的解決は蔣介石氏を突かけなければならぬ、支那の歐米依存主義はこの際淸算せしむべきだ、自分は一通りみて特別議會に出る

なほ旅行は約十日間北支を視察、八月早々歸京の豫定である

平本洋行上棟式

總工費十二萬圓にて本春來新京銀座東二條角の目拔に、四百五十坪の敷地を得、地上三階地下一階の近代建築を行ひつゝある附屬地の洋雜貨專門老舖平本洋行では二十五日の吉日をトし午後六時から町內關係者等約百名を招待、盛大な上棟式を行つた、なほ竣工開店は九月下旬になる見込

第三日目 勝馬豫想表

第一 抽新馬 一、六〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
	1	新軍	[illegible]	濱崎
	2	新屋島	[illegible]	前田
	3	南嶺	[illegible]	吉滿
穴	4	光勝	[illegible]	落合
三着	5	響天	[illegible]	于連魁
	6	南方	[illegible]	上原口
	7	梅花	[illegible]	新原
	8	丹川	[illegible]	梶原
	9	一瀧	[illegible]	梶浦
	10	秋榮	[illegible]	高尾
	11	九頭龍	[illegible]	甲斐啓
一着	12	大岩	[illegible]	松本
二着	13	第二雲風	[illegible]	有吉

第二 抽新馬 二、二〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
一着	1	甲子	[illegible]	前田
穴	2	弘洋	[illegible]	內田
	3	榮隆	[illegible]	谷

第三 抽古 二、〇〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
穴	1	昭和	[illegible]	于連魁
三着	2	眞駒	[illegible]	松本
二着	3	興安嶺	[illegible]	吉滿
	4	菊星	[illegible]	甲斐均
	5	流線美	[illegible]	落合
	6	榮昇	[illegible]	內田
	7	眞力	[illegible]	上原口
	8	新英龍	[illegible]	甲斐啓
	9	南天	[illegible]	谷尾
	10	嘉洋	[illegible]	前田
一着	11	金大鵬	[illegible]	新原
	12	北蘭	[illegible]	久保

第四 抽古障碍 二、四〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
	1	北龍	[illegible]	吉滿
一着	2	一二三	[illegible]	前田
	3	快快	[illegible]	大河內
二着	4	若月	[illegible]	梶原
	5	轟	[illegible]	甲斐均

第五 抽新馬 二、〇〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
一着	1	金嵐	[illegible]	甲斐均
穴	2	東功	[illegible]	高尾
二着	3	公月	[illegible]	梶原
	4	羅勇	[illegible]	大河內
	5	丸八	[illegible]	吉滿
	6	新常陸	[illegible]	甲斐均
	7	愛國	[illegible]	濱崎

第六 新外馬 二、〇〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
	1	鯉瀧	[illegible]	新原
一着	2	公主嶺菊姬	[illegible]	甲斐啓

第七 抽古 二、〇〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
一着	1	奉天鮮勝	[illegible]	田中
	2	生力	[illegible]	上原口
	3	有田	[illegible]	梶浦
	4	勝	[illegible]	谷尾
三着	5	甘王	[illegible]	甲斐均
	6	勝駒	[illegible]	松本
	7	赤穗	[illegible]	內田
一着	8	金大川	[illegible]	前田
	9	大江戶	[illegible]	梶原
	10	英飛	[illegible]	久保
二着	11	吉功	[illegible]	吉滿
穴	12	舞姬	[illegible]	新原

第八 抽新馬 二、〇〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
一着	1	紅燕	[illegible]	甲斐均
穴	2	麒麟嶽	[illegible]	有吉
三着	3	玉飛	[illegible]	谷尾
	4	辨天	[illegible]	吉滿
	5	龍	[illegible]	高尾
二着	6	連山	[illegible]	梶浦
	7	泉山	[illegible]	新原
	8	隆記	[illegible]	田中

第九 古外馬 二、〇〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
穴	1	普飛雲	[illegible]	甲斐均
	2	初瀨	[illegible]	田中
一着	3	哈克一	[illegible]	古家
二着	4	旭正	[illegible]	上原口
	5	海星	[illegible]	新原
	6	大昌	[illegible]	久保

第十 抽古 一、八〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
	1	眞弓	[illegible]	上原口
	2	公流	[illegible]	落合
	3	玄洋	[illegible]	甲斐均
	4	東駒	[illegible]	高尾
穴	5	蓼	[illegible]	新原
二着	6	千代駒	[illegible]	松本
	7	松影	[illegible]	大河內
	8	英俊	[illegible]	古家
一着	9	新松綠	[illegible]	吉滿
	10	長春	[illegible]	內田
	11	鮮	[illegible]	前田
	12	朝日櫻	[illegible]	田中
三着	13	第六千代	[illegible]	梶浦
	14	猛進	[illegible]	濱崎

第十一 抽古馬 一、八〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
二着	1	駒形	[illegible]	梶原
	2	菊勇	[illegible]	內田
	3	玉吹雪	[illegible]	谷尾
	4	公山	[illegible]	落合
	5	睦月	[illegible]	上原口
三着	6	八萬	[illegible]	新原
一着	7	三治	[illegible]	甲斐均
穴	8	金酒	[illegible]	吉滿
	9	北斗	[illegible]	高尾
	10	新京金米	[illegible]	于連魁

第十二 抽古障碍 二、四〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
穴	1	奉天豐姬	[illegible]	松本
	2	金華	[illegible]	谷尾
一着	3	滿鮮	[illegible]	梶原
	4	靱雄	[illegible]	大河內
	5	北疆	[illegible]	梶浦
二着	6	專六	[illegible]	新原

第十三 古外馬 [illegible]

印	馬番號	馬名	重量	騎手
穴	1	新泉	[illegible]	梶原
	2	金大勇	[illegible]	吉滿
	3	橫濱	[illegible]	上原口
	4	金進	[illegible]	新原
一着	5	哈克綠	[illegible]	古家
二着	6	早雲	[illegible]	內田
	7	錦具	[illegible]	大河內

第十四 抽新馬 一、六〇〇米

印	馬番號	馬名	重量	騎手
二着	1	菊香	[illegible]	濱崎
穴	2	勇刀	[illegible]	久保
三着	3	新光玉	[illegible]	吉滿
	4	新太陽	[illegible]	高尾
	5	新福	[illegible]	上原口
	6	陸王	[illegible]	谷尾
	7	英生	[illegible]	梶原
	8	玉浪	[illegible]	梶浦
一着	9	金大英	[illegible]	前田
	10	鳥渡	[illegible]	甲斐均
	11	幸中	[illegible]	于連魁
	12	奈知須	[illegible]	甲斐啓

新京競馬 第二日目成績

▲第一競馬（八頭、一、八〇〇米）
1高風（二分三〇秒三）、2紅燕、3玉飛、配當－單七圓一〇、複1四圓九〇、2五圓、3六圓四〇、搖彩1二〇六圓、2五八圓八〇、3二九圓四〇、等外一四圓七〇

▲第二競馬（三頭、二、〇〇〇米）
1拉麗德（二分五六秒一）、2東功、3菊香、配當－單五圓四〇、搖彩1一一〇圓九〇、等外一三圓八〇

▲第三競馬（七頭、二、二〇〇米）
1百鳳（三分一二秒三）、2嘉洋、3眞駒、配當－單九圓五〇、複1六圓三〇、2七圓五〇、搖彩1二九六圓九〇、2七四圓二〇、等外一八圓五〇

▲第四競馬（五頭、二、四〇〇米）
1第二春花（三分三〇秒）、2滿鮮、3壽、配當－單七圓七〇、複1六圓、2一二圓二〇、搖彩1二九九圓五〇、2七四圓八〇、等外三一圓二〇

▲第五競馬（四頭、二、〇〇〇米）
1松竹（二分五七秒四）、2公月、3甲子、配當－單六圓六〇、搖彩1二六〇圓二〇、等外二一圓六〇

▲第六競馬（二頭、二、二〇〇米）
1美光（二分五七秒一）、2公主嶺菊姬、配當－單五圓二〇、搖彩1二六四圓五〇、等外六六圓一〇

▲第九競馬（五頭、二、〇〇〇米）
1堅城（二分四七秒）、2英俊、3甘王、配當－單七圓一〇、複1四圓九〇、2五圓三〇、搖彩1四二二圓四〇、2一〇五圓六〇、等外四四圓〇〇

▲第十競馬（九頭、二、〇〇〇米）
1三初（二分四七秒一）、2赤穗、3朝日櫻、配當－單八圓四〇、複1六圓五〇、2一一圓六〇、3一三圓〇〇、搖彩1一、一七八圓二〇、2三三六圓六〇、3一六八圓三〇、等外七〇圓一〇

▲十三競馬（五頭、二、二〇〇米）
1幸幸（三分一二秒三）、2吉功、3新松綠、配當－單一四圓一〇、複1五圓八〇、2五圓一〇、搖彩1三二二圓五〇、2八〇圓六〇、等外三三圓六〇

▲第十四競馬（十頭、一、八〇〇米）
1趙鵬程（二分三四秒四）、2泉山、3榮隆、配當－單八圓四〇、複1五圓二〇、2五圓四〇、3一二圓一〇、搖彩1八三七圓七〇、2二三九圓三〇、3一一九圓六〇、等外四二圓七〇

天氣と氣溫

けふの天氣 南西の風曇り 驟雨

日の出 前 五時一九分

日の入 後 八時一〇分

月の出 後 九時一三分

月の入 前 八時 六分

きのふ 最高 三一度四

度氣溫 最低 二三度四

兩横綱最後の一番 玉、双葉を寄切る

幕内優勝力士は"名寄岩" 東京相撲 滿洲場所を終る

東京大相撲新京場所第四日目滿洲場所千秋樂の二十五日は日曜の上に快晴に惠まれ早朝より櫓太鼓に集まる觀衆數千滿洲場所も今日で最後と力士連も一入の緊張勇壯な稽古振りに早くも場内を沸き返らせ歡聲亂れ飛ぶ、一通り幕下連の幕内力士への掛り稽古がすんで正午愈よ本勝負にかゝる頃からファンは續々詰めかけ華やかな土俵入りも終つて中入後ともなれば觀衆無慮一萬餘花道まで蟻の出る隙もない壽司詰幕内力士の巧者な取り手に昂奮したファンは益々熱狂し三段の勝負に入つては場内割れるばかり思ひ思ひの聲援にしばし鳴りもやまずはては土俵にまで躍り出る有樣新京空前の盛會で玉、双葉兩横綱の取り組を最後に廣錦の古式にのつとつた弓とりがあり目出度く滿洲場所を終へ優勝者に優勝刀の授與式を行ひ午後六時五十分新京場所の幕を下した、本日の勝負並に受賞者、滿洲場所の成績左の通り

勝　負
源氏山(下手投)八幡錦
天城山(うつちやり)三熊山
番神山(寄切り)富野山
羽黒山(寄切り)大浪
巴潟(寄切り)金湊
星甲(おくり出し)幡瀬川
桂川(下手投)大八洲
海光山(寄切り)磐石
楯甲(押切り)土州山

三役
名寄岩(吊出し)玉ノ海
清水川(上手投)旭川
玉錦(寄切り)双葉山

△滿洲場所優勝力士
△幕内優勝者(十三勝)　名寄岩
關東軍司令部優勝盃
柴崎新京總領事代理優勝刀
△三役以上優勝者　玉錦
張國務總理大臣盃
日比野駐滿海軍司令官盃
△三役以上第二位　双葉山
南滿洲警察協會盃
星野總務廳長盃
△三役以外幕内第一位　羽黒山
山口滿鐵新京支社長盃
△十枚目最優勝者　源氏山
子首都警察廳總監盃
なほ滿洲場所の成績次の通り

勝　負
玉錦　十二　一
双葉山　十一　二
清水川　七　六

鏡岩　玉の海　旭川　海光山　土洲山　柱川　磐石　幡瀬川　名寄岩
休　五　二　七　四　五　二　八　十三
八　十一　六　九　八　一　五　十〇

巴潟　大八洲　楯甲　星甲　金湊　大浪　番神山　羽黒山　三熊山
四　五　六　九　四　九　五　三　十二
九　八　七　四　九　四　八　〇　十一

松前山　富野山　天城山　小鳥川　源氏山　綾錦　小戸岩　國光　小松山　神威山　八幡錦　磐城
休　五　八　六　十　無　七　六　八　三　五　休
八　五　七　三　二　六　七　五　十　八

なほ一行は今後二班に別れ玉錦、双葉山、清水川の一行は新義州、朝鮮を興行して東京に歸り、また大八洲、土洲山外百余名はハイラル、チ、ハル方面に至り皇軍慰問相撲を行ひ東京に歸ることになり二十六日それぞれ出發する
【寫眞は(上)玉錦、双葉の取組(下)名寄岩に優勝授與(中)子供をあやす清水川】

何時の世にも變らぬ母の愛

忙しい武部總長の暑中慰問に 母堂久子刀自來京

治外法權の撤廢を目睫に控へ加ふるに北支事變を映して關東局は全機能を發揮して九十餘度の酷暑の下牛どんも驚すするといふ精勵ぶりである、全機關を統べる總長武部六藏氏の心勞の程又察するに餘りあり突である、いつまで經つても子ふ思ふ親心に變りはない總長の母堂久子刀自は總長を慰めかたぐ〵せめて休みの間だけでも仕事の邪魔にならないやう孫たちの免倒を見てやらうといふ溫い心盡くしから七十五歳の老齢をおして二千七百キロの長途の旅路恙なく二十五日午後六後二十分着あじあで新京驛に到着した、あじあが到着フォームにぴたり停車すると和服姿に寛ろぎお子さんたちの手をとつて出迎への總長は母堂の姿を認めるなり列車の乘降口に歩み寄つて

"お母さんさぞかしお疲れでしやう"と役所では嚴めしい總長もすつかり昔の六歳少年にかへつて叮嚀に頭を下げれば母堂もまあ皆さんもお達者で何よりです

駈け寄つたお孫さんたちがお婆さん今日はときよとんと頭を下げるおゝく大きくなつたことゝおつむを撫でるやらまことに濃やかな家庭愛にフォームの唯彼もほろりとさせられる手をとらんばかりに總長やお孫さんにとりまかれた刀自は驛前から官邸の自動車に同乘沿道總長から

これが滿鐵支社、こゝが新京神社、右が關東軍、左が關東局、この建物が康德會館あちらに見へるのが忠靈塔と説明を聞きつゝ一路興安大路先の總長官邸に旅裝を解いたが長途の疲れも忘れて美はしい家庭の團欒にひたつた、なほ刀自は暑中休暇の間滯京の豫定である

郵政接收滿五周年を迎ふ

郵政總局副局長　岡本忠雄

◇……大同元年七月二十六日は滿洲國建國以來猶我が郵政權下に存續して居つた中華民國交通部直轄下の郵政機關より其の業務を接收し以て我が滿洲國郵政の手に依り直轄事業の經營を開始した銘記すべき日である、客年此の日を以て永久に郵政の紀念日と定め本日茲に其の第二回を迎へた次第であるが、本年は恰も接收滿五年に相當し殊更意義の深きを感ずるのである、顧れば大同三年此の日以來治安の未だ確立せざる匪賊の間に或は熱河征討に追隨して同省内の郵政權を收め或は潛逆中匪團に遭遇して斃るゝが如き悲壯なる殉職者を出す等幾多の困苦障碍に堪え漸く今日の如き整備の域に達したのであつて時の交通部總長丁鑑修閣下を始め職員中には當時を追懷して轉た感慨に堪えざる諸君も多々あられることゝ思ふ

◇……抑々當時の中華郵政が滿洲建國に對する政治的報復手段として全滿郵政の封鎖を斷行し全從業員を引揚げしめたことは郵便が社會の公器であり人類の社會生活と切離すことの出來ぬ極めて重要なものであるてふ郵便事業本來の使命を沒却したものに外ならないと思ふ、郵便事業の經營は蓋し政治問題の埒外にあつて斯くの如き手段に用ひらるゝことは斷じて赦さるべきものではないのである、通信は運輸と共に恰も人體に於ける神經と動脈とに比すべきものであるから其の何れを斷つも生命を亡ぼすに均しきことは云ふ迄もない、我が郵政當局が逸速く之に留意し公衆の蒙る不便を一日として放置せず最大の犠牲を拂ひ直に業務の繼續を圖り殊に亞歐郵便物遞送上の最大幹線路を保持し東洋、歐洲諸國間に發着する郵便物の交換を停滯せしめざりしは國際通信上の義務を完全に果したるものと云ふべく世界各國が國際聯盟の決議に基き滿洲國不承認の建前を執つた當時より尚郵政の獨立は之を現實に認め今日に至る迄何等の支障なく事實上の交渉を續けつゝあるに徴するも如何に各國が通信の重要性を尊重し同時に我が郵政當局に敬意を表して居るかゞ解るのである。

◇……顧つて我が郵政が全く舊套を脱して、今日の域に達したるは中華郵政時代に於ける營利的經營方針を根本的に是正し王道政治の具現として積極的普及主義の下に施設の改善擴張を行つて來たからであると信ずる、即ち郵政十ヶ年計畫となつて着々其の實を擧げて來たのであるが今や國運の異常なる發展に伴ひ庶政の質的轉換期に遭遇し且滿鐵附屬地通信行政權の移讓を受くる機會を控え積極的第二次工作への第一歩として郵政五ヶ年計畫樹立せられ吾等に課せられたる使命の愈々重且大なるを痛感する次第である本日の記念日に當り我が郵政事業の圓滿なる發達を常に保護し助長せしめられたる關係方面の御厚意に對し深甚なる謝意を表すると共に滿洲帝國の健全なる發展に貢獻する爲一層奮起し以て郵政報國の誠を盡さんとする次第である(寫眞は岡本副局長)

泳げないのに

颯爽?飛込んで溺死 選りも選つてプール最深部で

"水の誘惑"綺譚

さきに櫻木小學校プールで小學生が今夏國都始めての水の犠牲者となりその痛々しい記憶去らぬ中に、こんどは國都唯一の白菊町公衆プールで滿洲國青年がはからずも二番目の犠牲者となつた、折柄の日曜、絶好の水泳日和に惠まれて大、小の河童連がワンサと押しかけ芋の子を洗ふ樣な騒ぎの二十五日の午後三時頃、城内東三馬路居住の代書業張某君(二八)は友達に連れられはじめて、プールなるものに來たが、喜々として泳いでゐる淺瀬の方の滿人子供の姿をみると、張君は全くの金槌なのにも拘はらず、褌一つになつて、いきなり一米スプリングボードから同プールの最深部三米も深さのあるところに飛び込んだからたまらない、一、二回鼻のあたりまで浮かび、手を水中から出してもがいたが、そのまゝ水中に隱れてしまつた驚いた友達は早速出來事をプール監督に告げ、集つてきた入場者の中から潜水の出來る泳ぎ手を總動員して捜索を始めたが、二十分位かゝつても如何しても發見出來ない、或は悪戯ではないかなどと言ふ聲も起つたが念のためと更に網や竹棹を持ち出しプールの底ざらひを行ふ中、遂に話は事實となつて張君は丁度一米スプリングボード眞下のコンクリート壁に添つて引き揚げられた

その間約三十分、揚げられた時は未だ體溫もあり水を呑んでゐる形勢もなかつたので或は恢復するかも知れぬとプール關係者は汗みどろになつて人工呼吸その他應急手當を行ひつゝ直ちに興安病院より醫師を迎へたがその時は既に手遅れで心臟痲痺と診斷された

白菊町プール 當分休場

白菊町プールは水かへのため廿五日午後から當分休場する

融和の華絢爛

昨協和の夕べ第一夜

"協和の殿堂"―協和會館の誕生を祝福し併せて協和會創立滿五周年を記念する協和の夕べ第一夜は二十五日午後六時より新築成つた協和會館講堂で開催、中央本部宣傳科長呂作新氏閉會の辭を述べ、新京軍樂隊の日滿國歌、日滿交驩歌、關東軍行進曲、「更生」「湖船」「生活の樂しみ」「名譽の勳章」「威風堂々」等の演奏より、次いで藤間勘喜久師門下の日本舞踊、牛島人諸君による舞踊「僧舞」、大經路小學校兒童の滿洲舞踊「鐘辭」「賣油條」ロシア舞踊數種あつてまさに文字通りの諸民族融和の情景を高調させさらに呼び物たる滿洲國演劇研究會同人の日語劇「國を造る人々」及び銀星劇團同人の滿語劇「回家以後」の新しく成つた舞台に於ける演出を展開、次いでワーナーナショナル映畫「線の灯」を上映して意義深き催しを終つた引續き二十六、二十七日の兩夜も同樣のプログラムで午後六時からこの"協和の夕べ"は續開される【寫眞は滿洲人舞踊】

從兄の金を失敬 高飛中捕る

原籍茨城縣久慈郡太田町三枝源太郎氏次男康次君(二二)は就職のため一ヶ月前に從兄に當る密門驛員根本要作氏を訪ね同居してゐたが職は見當らず、二十五日家人の留守中に從兄の金七十五圓を盗み出して行方を晦ましたが、同日午後手配をうけた新京驛詰村中巡査が午後四時二十分着列車三等車の隅にゐた一少年を發見不審訊問したるに同少年は最初僞名し、逃げ出さんとしたので取押へ調べた結果遂に七十五圓を盗み出し北支に高飛びの計畫を自白し密門に戻された

尚書府秘書官長 武宮氏着京

宮内省帝室林野局より滿洲國尚書府秘書官長に榮轉の武宮雄彦氏は廿一東京を出發、廿五日午後六時二十分着あじあで驛頭入江宮内府次長以下關係者の出迎を受けて着京したが驛頭

滿洲は初めてで事情も判りませんが知人もあり、廿三年間宮内省に勤めてゐたので皆さんの御指導を受けてやりたいと思つてゐます

と語つたゞ、廿六日宮内府に正式登廳の筈である【寫眞は驛頭にて左は武宮氏】

興安橋附近の列車妨害は子供の悪戯

朝刊既報、二十四日午後七時三十分頃興安橋附近に於ける營口發新京着二十九號列車妨害事件は時局柄重大視され國都各警務機關擧げて徹宵犯人を捜査中であつたが、犯人は意外にも牛島人少年達の悪戯であることが判明した、緊張した當局も聊か張り合ひ抜けの態である

この悪戯ものは普通學校生徒牛島人姜吉龍(一〇)朴尚根(一三)朴泰根(九)李春雄(九)崔尚根(一三)尹相憲(一三)金永達(一三)姜吉求(一三)及外一名計九名のチンピラ一團で一隊は目下學校が夏期休暇中であるためキリギリス捕獲に南新京附近に出掛けフト悪戯心が持ち上り軌道に小石を並べて列車の驀進を待、折柄二十九號列車が進行、來り小石がボーンと音響をたてゝ飛びぱつと運を發するのを見て一時は驚いて現場を逃走したが、これが面白さに翌廿五日午後零時半頃またしても悪戯を繰返すべく隊をなして該場所に出掛けたところを警戒張り込み中の新京署員によつて逮捕されたものである

新京署に於ては犯人が未定年者のため父兄を召喚嚴重訓戒を與へる事になつた、因にこの過ぎた悪戯に對して親達は充分に自戒子弟教育に細心の考慮を拂ひ今後再び操り返へさざるやうに希望されてゐる

京濱線匪襲に 白露路警一名殉職

二十五日午前二時半京濱線第二松花江鐵橋匪襲事件詳報によれば同交戰において路警の一白系ロシア人一名は遂に殉職し他に一名の負傷者を出した模樣である

殉職滿鐵社員 所葬執行

殉職滿鐵社員故天野祐郎氏故青田好一氏の鐵道事務所々葬は廿五日午後二時及び三時半から太子堂並びに金剛寺高野山でそれぞれ盛大に營まれた

フレンソーダ

重大時局と防空本演習を控へて日もこれ足らずと言つた繁忙を極めてゐる電々會社新京管理局の才津總務課長▼「先達つての準備演習ではきまつて夜の十二時までは頑張り通したものだが、席の溫まる暇がないと言ふ言葉は蓋しこの場合にのみ適言だね」とひどく感激しておいて▲「いや〱こんなのまだ〱なまぬるいかな、時には便所に籠んでゐても起つたり、すはつたりだつたからね、このじつとしておれない氣持を表現するもつと強い形容詞はないもんかね」とハリキリ課長は語つた

ラヂオ

けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿六日(月曜日)

××朝××

。六、三〇 ラヂオ體操、入港船のお知らせ(大連)
。六、五〇 初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七、一五 朝の音樂(大連)
引續き 防空ニュース
七、四五 建國體操
八、〇〇 氣象通報(大連)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 家庭講座 水泳の話 小野田一雄
一〇、二〇 料理獻立
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況(大連、新京)
一一、三五 經濟市況(大連)
一一、四〇 經濟市況(東京)
一一、五九 時報(東京)

××晝××

。〇、〇五 晝の演藝(奉天)
戰ひの歌(獨唱と行進曲)
獨唱 小島政一
伴奏 BYサロンアンサンブル
指揮 山内武夫
〇、四〇 ニュース(東京)
引續き 防空ニュース、ニュース
一、〇〇 經濟市況(大連、新京)
三、〇〇 經濟市況(大連)
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース(東京)
引續き 防空ニュース、ニュース
四、三〇 經濟市況(大連)
五、二〇 ニュース(鮮語)

××夜××

。六、〇〇 演藝(鮮語)
。講演 第二回郵政記念日を迎へて 郵政總局副局長 岡本忠雄
六、三〇 子供の時間 童話劇 歸つて來た浦島太郎 NTCY子供サークル 指揮 小林壽一郎
六、五〇 コドモの新聞(東京) 村岡花子
七、〇〇 ニュース(東京) ニュース、告知事項 番組豫告(新京)
七、三〇 講演(牡丹江) 東部滿洲に於ける防空演習に就て 牡丹江省長 大島陸太郎
八、〇〇 山の俚謡 長野縣上伊那郡伊那里村有志
(長野)一、さんざ節 二、きんによんによ節
(金澤)神迎踊 石川縣能美郡白峰村有志
八、二〇 獨唱(東京) 歌劇「アリアンナ」より 島田龍之助外 伴奏 岡田九郎
八、四五 舞台劇(東京) 戀闇鵜飼燎 石和村甲作内の場 澤村訥子 中村芝鶴 市川左升外 竹本連中 囃子連中
九、三〇 時報、ニュース(東京) ニュース、告知事項 氣象通報、番組豫告(新京)
一〇、〇〇 ニュース再放送、防空ニュース
一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)

舞台劇 戀闇鵜飼燎

石和村甲作内の場 (後八・四五 東京より) 澤村訥子外

戀闇鵜飼燎は河竹默阿彌がその純創作になり、初めて上演されたのは明治十九年五月千歳座で、作者七十一歳の年のことであるが、此作が最初に發表されたのは雜誌歌舞伎新報の誌上に於てゞあつた。書卸しの時の役者は、菊五郎の鵜飼の甲作、九藏の船木賢三郎、松助の月輪熊藏、家橘の穗積文三等であつた。全幕を通じて八幕十五場よりなつて居るが、今晩放送するのは八幕目石和村甲作内の場をお聽かせする。

(米屋の)

穗積文三は、數寄屋町新常磐の藝者小松の色香に迷つて遂に身代限りをした。小松は向島で文三だけ身を投げさせて一人逃げやうとする所を月輪熊藏と呼ぶ惡漢に見られて、身の弱身から身を任せる。

その後小松は小田原へ流れて娼妓となり、士族の船木賢三郎といふ惡者と一所になつて惡事を働きつゝ諸國をさすらひ歩く。その後甲州石和にある鵜飼の甲作といふ兄を頼つて甲州路を志した小松は笹子の宿屋で計らずも文三の妻おさきのみじめな乞食姿に廻り會ひ死んだと思つた文三は助かつたと聞いて今更ながら悔恨の涙が湧いたが、行手を急いで笹子峠に差しかゝつたとき文三が恨みの刄を振つて追ひかけてくる。あはや一太刀浴びせられて、ぞつとして眼が覺めればそれは辻堂でむすぶ假寢の夢であつた。一つ逃がれて又一つ、辻堂の外には餓えた狼が牙をならして群り、絶對絶命の小松に此の世ながらの地獄の苦患むごたらしくも骨肉を餓狼の餌食にする。

穗積文三の妻おさきは一子德太郎を連れて實家の甲府へ赴く途中、小佛峠で惡者のために已に危ふき所を鵜飼の甲作に助けられ、その禮に甲作の家を訪ねる。此處で、計らずも小松(乃ち甲作の妹千代)の生家を訪ねる夫文三と廻り會ひ奇しくも盡きせぬ緣に結ばれる。

(仕事に)

出た甲作、乙松の父子は石和川にて妹小松の首拾ひ家に歸れば、母親より文三夫妻の滯在を聞くが妹の首の事を母親に打ち明けかねてゐるが、とど見せれば不孝な娘でも、親子の情、悲嘆にくれてゐる。

所へ、船木賢三郎(實はおさきの兄で小松の夫)が訪れ小松の最後の樣子を語り、身の罪を深くわびて自害する。文三夫婦は甲作親子の情けで更生の門出に出る。

山の俚謡

【後八時】

(金澤) 石川縣能美郡白峰村有志

一、神迎踊

神迎踊は古來日本三名山の一に數へられ神の御山として尊ばれて來た靈峰白山山麓に傳はる古典的な踊である。神迎踊のカンコはこの地方の人が山仕事に出る時にさげて行く「蚊遣火」をカンコと言ふところから起つた名で踊り手は扇子か手拭を持つて脚は三尺進んで三尺下り地を蹴つて踊るものと、鼓を打鳴らすものと二種ある。歌の調子は甲高く急で眞に山岳溪間のものであることを思はしめるが、山地に往々見るが如き野卑な趣は少しもなく北陸の山村を代表する郷土舞踊の白眉である。

加賀の白山シラヤマなれど雪は又降らぬ六月はカンコを持てばカノメが走る皆一時に團扇を持つて河内の谷は朝寒いとこぢやむ前の風を吹きおろす十七八が樽に乘せて何處から見ても八重櫻おお十七しよぢやかお十八しよぢやか猿帽子の袖しよぢやか向ふの山を光るは何ぢやいなお月の星か螢の蟲か今來る嫁の松明か今來る嫁の松明なればさゝげてとおせ八瀬男

今年豐年穗が下つて一把で束に七俵御座つた祝の酒が又七丁なみ〳〵注いで七樽のんで舞ふてよう踊れ河内の奧に煙が見えるいねや出て見や霞か霧か御前の山が燃えるのかお前の燒の煙とあればのんの手を引きんなぼを負せそむして御地の裏山へ歸命頂禮しんゆう和尚我等が爲の觀音我等が爲の觀世音ならば守らせ給へ秋津州踊りたけりや踊れ皆出て踊れ踊らにや明日は悔しいぞへ踊らいでも悔しいことないわいな明日から山の草取ぢや

二、笠踊

笠踊は白峰村一帶に亘つて行はれ眼にも止らぬ早業で檜笠を操りながら「ハイヤ」なる俗謠に合せて急調子で踊り主として酒宴の席等にて單獨又は二三人並んで演ずる習なり

ハイヤかわせ今朝出た船は何處の湊に着いたやら
勤めの辛さに嶽山見れば霧がかゝらぬ山はない
白山なる千蛇ヶ池の御寶庫でも 落ちる時や落ちる娘島田は名が落ちる

(長野) 高坂源治郎外

一、ざんざ節

ざんざざんざと馬追ひかけてコリヤザンザ秋はおいでよ米つけにイヨサマスイショデキヘザンザヨーオイソコジヤイナー
主は三峰川私しや天龍川コリヤザンザ、末は一筋深い仲 (以下囃は同じ)
秋が來たかよ入の谷馬の、炭の中荷に桔梗の花
妾しや奧山谷間のつゝじ、八重に咲く氣は更にない
こぼれ松葉を手でかき寄せて主さおいでよ焚て待つ

二、きんによんによ節

お月やちよろり出てキンニョンニョンお山を抱きやる俺等も抱きたやキンニョンニョン
お十七をキクラカチヤカポンマタオイデ (以下囃は同じ)
皆ないやなら、おら三人で四角三角、蕎麥のなり
お月樣さへ、毎夜さ通ふ東山から西山へ
山に切る木は數あるけれど、思ひ切る木は更にない
三峰の川瀬のあの水車、誰を待つやら來る來ると
秋が來たかと私しや氣が紅葉 鹿と聞きたい主の胸

海外ニュース

國際グライダー競技

【ベルリン發國通】國際グライダー競技大會は四日グライダー發祥の地たるドイツ、レーエン山脈のワツセルクツペに於て擧行、ドイツのほか波蘭、瑞西、チエツコスロヴアキアの各國鳥人が妙技をふるつた、その結果ポーランドの鳥人パラノヴスキー氏がワツセルクツペより約二百キロを快翔してブルンスウイク附近に着陸、當日の最長飛行記録を作つて優勝した、女子の方ではオーストリヤのフオン・ノリテイ孃が見事な操縱振りを見せハメルン附近に着陸、百八十五キロを翔破しで優勝の榮冠を獲た

大西洋の「冷藏庫」

【ワシントン發國通】米國大西洋岸監視船長E・H・スミス氏はこの程米國地理物理學協會に對し大西洋航路の諸船舶を脅かす氷山の巢とされてゐる「冷藏庫」を發見した旨報告した、この「冷藏庫」はグリーンランドとラブドルとの間にありその正體は北流するグリーンランド潮流と南流するラブラドル潮流との中間に介在する靜水の一大塊で毎秒二百六十萬立方ヤードの海水をその中に流入せしめてゐるが溫度計測と音響により、その海水の部分の重量が增しかつ氷結するため徐々に沈下し、海底に達した後再び壓力のために海面まで浮き上ることが判明した、このスミス氏の發見は氷山の生成原因に關する從來の通説に對して一つの新説を提供するものとして學界の注目を惹いてゐる

髑髏組 (映畫化上演)

林杢兵衛 金子士郎畫

幾代の過去(廿二) (百六十二)

一氣に極めつけられて、二の句の繼げない勘藏だつた。

「それッ證人を呼べ!」

聲に應じて、下役人の一人が去つた。間もなく連れられて來たのは、浪人蟾川剛造だつた。

剛造は、チラと勘藏夫婦に一瞥をくれて、

「御亭主、いゝ加減に泥を吐いたらどうだ? 罪のない者を、いつまでも苦しめるは可哀想ぢやないか。餘計なことのやうぢやが、拙者はあれから以來、幾代のために十日間、毎日貴公の家に詰めかけて、その一擧手一投足の、微細な點まで注意してゐた」

冷やかに云ふ剛造から、どんな證據が持ち出されるか?

「俺は、始めッから貴樣の仕業――と睨んでゐた。が、そうと云ふには、これと云ふ確かな證據を握るまでは、相も變らず毎日のやうにお客となつて通つてゐたのだ。知らなかつたらう。丁度五六日經つてからだ、漸々貴樣が下手人である――と云ふ確かな證據を摑つたのだ。よつく見ておけ、これだ」

云ひながら剛造は、小脇に抱へた風呂敷包みを解いた。

それまでは、上州板橋の喰ひ詰め者らしい圖太さで、白々しく構へてゐた勘藏だが、風呂敷包みを一目見るなり、

「あッ!」

と、恐怖の絶叫。戰慄のために齒の根さへ合はない有樣だ。

「これは貴樣がおとゝいの晩、裏の物置きの土間へ埋めた貴樣の着物だ。俺はそれを見てゐて、直ぐその後から掘り出したのだ。調べて見ると、それから右の袖口に僅に少しと、それから此の通りおびたゞしい血が附いてゐる。これでも知らぬ、存ぜぬとは突ッ張れまい。それから、此の匕首の鞘だ」

「うゝ、う……」

口惜しさうに口籠つて、剛造を怨めしさうに睨みつける勘藏の頭上で

「それ、勘藏とお寅に繩打てッ!」

主膳正の下知が爆發した。

◇

浪人、蟾川剛造の義侠的援助と、南町奉行櫛引主膳正の明快なる裁きに依つて、幾代の身邊に絡まる疑惑の雲は綺麗に除かれた。

そうして、何倖せな事には、主膳正の屋敷へ小間使として引取られ、今では娘同樣に、主膳正を父と呼んでゐる。

◇

幾代と、奉行の櫛引から、交互に聞かされた回顧一年の涙話。

刑部は、鉛の熱湯を浴びる思ひで聞いた。

(あゝ、醜いことは出來ないもの、母子諸共、自分の斬つた酒屋の乳呑兒は、現在親子であつたのか……何んと云ふ恐ろしい罪業だらう。今また、忍び込んだ奉行櫛引主膳正の屋敷が、幾代のためには、終世つぐなふ事の出來ない大恩人とは……あゝ因果は廻る小車だ。俺は一體どうしたらいゝのだ。罪に腹を切つた位では濟まされぬ深い罪業だ)

心のうちに叫んだ刑部は、遂に其處に居堪らず、無言でスックと立ち上つた。

「あ、もし……何處へ?」

幾代は、一緒に立ち上つてその袖にヒシと縋つた。

「今更、何んの面目があつて顏が合されやう、後生だ。此の儘見逃してくれ」

刑部は、其の手を拂はうとしたが、幾代が泣いて放さない。

「どうぞ、刑部一生の願ひだ、此の世に因ないもの――と思つて、其方はお世話になつて御奉公を大切に……」